



畜産研通信

平成27年度第2号

【酪農研究部】 平成27年度畜産研究所酪農研究会（受精卵移植関連技術等の普及）を開催

酪農研究部では8月31日（月）、酪農現場における乳用牛飼養管理技術及び酪農先端技術の現状と課題を共有し、その課題解決に向けた試験研究の取り組みをさらに現場レベルで進めていこうと、畜産技術者による平成27年度畜産研究所酪農研究会を開催しました。輸入飼料価格の上昇や高齢化・後継者不足、機械・施設の投資負担、労働力不足、環境問題など、経営を取り巻く情勢は厳しさを増しており、農家戸数や飼養頭羽数の減少が一段と進んでいることから、その生産基盤の強化が喫緊の課題となっています。このような情勢に対処するため、搾乳やほ育などの飼養管理技術、乳牛からの採卵、超音波診断装置による黄体確認、受精卵の取り扱いなどの受精卵移植関連技術を実演するとともに、現在取り組んでいる研究内容を紹介し、これら畜産新技術が酪農経営に貢献できるよう技術普及を行いました。

近年、性選別精液の利用や性判別技術による乳用牛雌受精卵を活用した後継牛生産に期待が益々高まっています。酪農所得の向上を図るため、今後とも当研究部で飼養する乳用牛群や受精卵移植関連技術を駆使した家畜性判別胚供給事業をご利用ください。



超音波診断装置によるドナー牛の黄体確認

※家畜性判別胚供給事業の概要

乳用牛の雌受精卵の販売

酪農研究部で生産した凍結卵又は新鮮卵をお渡しします。

販売価格：25,700円/個（税込）

乳用牛受精卵の雌雄判別

生産者の方が所有する乳用牛受精卵を雌雄判別した後、凍結してお渡しします。

雌雄判別手数料：8,640円/個（税込）

【養豚・養鶏研究部】 種豚情報

養豚・養鶏研究部では、今年度もデュロック種（アイリスナガラ、ポーノブラウン）と大ヨークシャー種の種豚および人工授精用精液を販売しております。貴管内養豚農家の経営効率化に当研究部の種豚を積極的にご活用ください。

平成27年度の種豚例

品種	個体番号	生年月日	検定成績		
			1日増体重 g/日	背脂肪厚 mm	ロース芯面積 cm ²
アイリスナガラ (♂)	D9602	H27.2.15	803.2	18.8	46.2
	D9603	H27.2.15	832.0	13.8	36.7
	D0401	H27.3.15	886.5	16.2	43.2
	D0502	H27.3.16	917.7	19.2	38.5
	D0503	H27.3.16	939.9	17.1	41.7
ポーノブラウン (♂)	D9701	H27.2.17	707.3	10.5	35.8
	D9702	H27.2.17	810.1	17.7	41.6
	D0101	H27.3.6	706.9	11.1	32.6
	D0302	H27.3.10	824.2	12.3	45.1
	D0307	H27.3.10	735.3	12.6	38.7

※当研究部は豚産肉能力現場検定施設の認定を受け「現場直接検定」を実施しています。

現場直接検定：体重30～70kgまで前期飼料（CP15.5%、TDN77%以上）、70～105kgまで後期飼料（CP14.5%、TDN74%以上）を給与。105kg時に超音波診断装置を用いて体長1/2部位でロース芯面積、背脂肪厚を測定。

※平成27年度の種豚販売価格

種雄豚 62,000円、種雌豚 53,000円

人工授精用精液の販売価格 1,300円

※上記以外にも種雄豚を飼育しております。お好みのタイプ等のご相談があるようでしたら下記までお問い合わせください。人工授精用精液

および種豚の注文等のお問い合わせはつきまで
お願いします。

お問合せ先：養豚・養鶏研究部（TEL 0574-25-
2185）（担当：吉岡、加藤）

【養豚・養鶏研究部関試験地】

卵用奥美濃古地鶏の譲渡と飼育管理研 修会を実施

養豚・養鶏研究部関試験地では6月24
日（水）に卵用奥美濃古地鶏の飼育管理研
修会および県内各地の18戸の飼養者に321
羽の中びな（ワクチン接種済み）の譲渡を
行いました。

卵用奥美濃古地鶏は、雄系に天然記念物
の岐阜地鶏、雌系には産卵性に優れるロー
ドアイランドレッドを用いています。育種
改良については、岐阜地鶏の維持とロード
アイランドレッドの性能向上により、卵の
生産性や品質を高めることを目指してきま
しました。平成3年の発表後から、譲渡希望に
合わせて県内譲渡希望者へひなを供給して
きました。



卵用奥美濃古地鶏の中びな

飼育管理研修会では、初めて奥美濃古地
鶏を飼う方やすでに飼育されている方から
飼育管理上の質問が多数あり、奥美濃古地
鶏に対する関心の高さが伺われました。

奥美濃古地鶏卵は通常の市販有色卵に比
べ、小ぶりな割に卵黄の大きさが変わらない
ため、卵黄卵重比が高くコクのある味わ
いと、褐色卵とピンク卵の中間の淡い色合
いの卵殻色が特徴です。卵黄の比率が高い
分、卵白が少なく卵かけご飯に調度よく、
濃厚な味となっています。成分分析の結果
からも市販有色鶏に比べ、蛋白質や灰分が
高く、うま味物質と言われるグルタミン酸
が多く、そのような特徴を生かした差別化

商品として利用されています。また、岐阜
地鶏という小柄で羽装の美しい鶏の特徴を
受け継ぐため、自家用の庭先養鶏としても
好評です。

【飛騨牛研究部】 平成27年度家畜人 工授精師養成講習会の実技講習

岐阜県では、家畜の改良増殖及び家畜人
工授精業務に関わる人材の育成・確保のた
め、「家畜人工授精師養成講習会」を隔年で
開催しています。今年度はその開催年に当
り、岐阜県農業大学校及び岐阜県畜産研
究所（飛騨牛研究部）を会場として、7月2
7日から8月24日まで、約1ヶ月間に亘
る講習会を開催し、23名が受講しました。



精液注入の実習に取り組む受講生

当研究部では8月17日から21日まで
5日間に亘る実技講習を行いました。発情
兆候の観察をはじめ、凍結精液の取り扱い
方法、臓器（子宮）を用いての子宮や卵巣
の観察及び精液ストローの模擬注入等の基
礎技術の実習を行い、実際に牛を用いての
直腸検査や精液注入実習を全受講生が実施
しました。受講生全員が人工授精に係る一
連の基本的動作を訓練できました。

8月24日には県立国際園芸アカデミー
で閉講式及び修業試験が行われ、みごと全
員が合格しました。今後は、実習の成果を
活かし、現場での経験を積み重ね、家畜人
工授精師として飛騨牛や酪農振興のために
重要な役割を果たしていただくことを期待
しています。

【おしらせ】

現場後代検定枝肉研究会の開催

- 1 日時 平成27年11月5日(木)
9:30~12:00
- 2 場所 飛騨ミート農業協同組合連合会
食肉センター
- 3 内容 花清光産子枝肉の展示及び解説

平成27年度畜産研究所ふれあい報告会 (研究成果発表会)の開催

つぎのとおり開催する予定です。詳細は
後日ご連絡いたします。

- 1 日時 平成27年11月11日(水)
10:00~15:00
- 2 場所 飛騨総合庁舎大会議室
- 3 内容
(1) 研究成果報告 10:00~12:00
(2) 講演会 13:00~15:00

畜産研究所ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養豚・養鶏研究部 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏・養鶏研究部関試験地 501-3924 関市迫間 2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp